

2024 年卒

4 月 1 日時点の就職活動調査 〈速報〉

キャリアス就活 2024 学生モニター調査結果 (2023 年 4 月発行)

2024 年卒の採用広報解禁から 1 カ月。就職戦線はどのように進んでいるだろうか。キャリアス就活・学生モニターを対象に、4 月 1 日現在の就職活動状況について調査を行った。内定状況など多岐にわたる項目を調査したが、取り急ぎ主要指標のみ紹介したい。

1. 4 月 1 日時点の内定状況

- 内定率は 52.9%。前年同期実績 (46.5%) を 6.4 ポイント上回る
- 就職先を決めて活動を終了したのは全体の 1 割強 (16.4%)。大半が就職活動を継続

2. エントリー状況、選考試験受験状況

- 一人あたりのエントリー社数の平均は 21.9 社。前年同期調査 (22.6 社) を下回る
- ES 提出社数は平均 10.7 社で前年より減少。面接社数は前年をやや上回る (5.6 社)

3. 面接形式ごとの受験状況

- WEB 面接経験者が 9 割超 (95.4%)。対面面接が前年より大きく増加 (56.6%→71.0%)

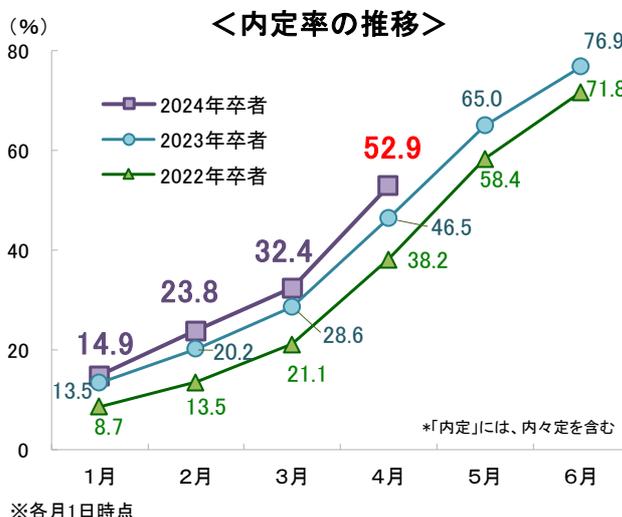
※「内定」には内々定を含む ※1日以内のプログラムも含めて調査

1. 4 月 1 日時点の内定状況

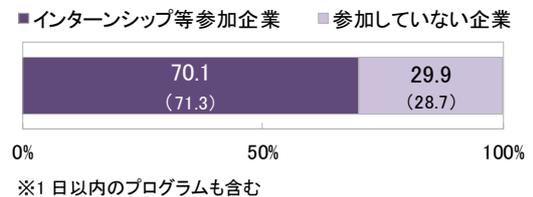
4 月 1 日の調査時点で内定を得ている学生は全体の 52.9%。先月 (3 月 1 日) の 32.4% から 1 カ月間で 20.5 ポイント増え、過半数に達した。前年同期 (46.5%) に比べ 6.4 ポイント高く、かなり早いペースで進行。採用広報解禁後に就職戦線が加速した様子が表れている。

内定を得た企業の 7 割 (70.1%) がインターンシップ等のプログラムに参加していた企業。

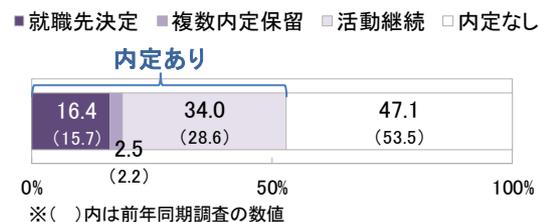
内定率は高水準だが、内定取得学生の多くは内定を保持しながら就職活動を継続している。就活終了者 (就職先決定) はモニター全体の 16.4%。



〈内定を得た企業の内訳〉

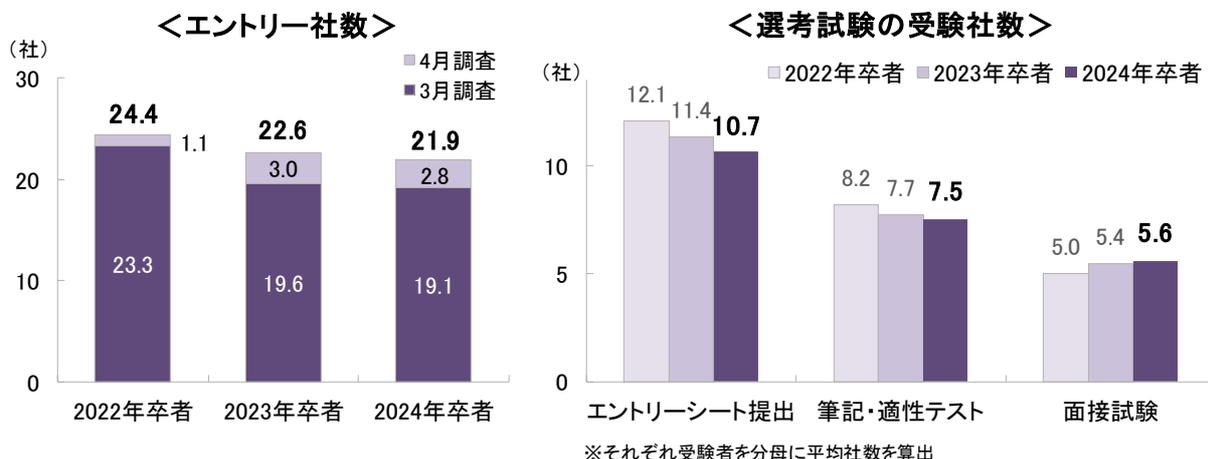


〈活動状況の分布〉



2. エントリー状況、選考試験受験状況

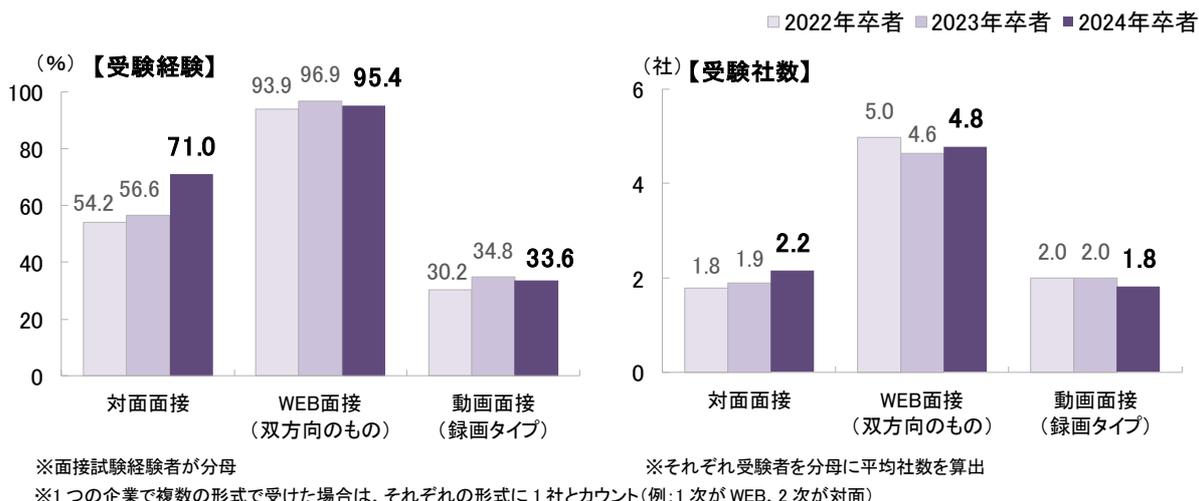
ここまでの活動量を見てみる。まず、一人あたりのエントリー社数の平均は 21.9 社。この 1 カ月の増え幅は 2.8 社で、3 月調査に引き続き前年同期実績を下回る。エントリー社数の減少に伴い、ES 提出社数や筆記試験の受験社数も前年同期を下回った。但し、面接試験については前年をやや上回る (5.4 社→5.6 社)。選考のタイミングが前倒しになっているためと考えられる。



3. 面接形式ごとの受験状況

面接試験経験者 (全体の 88.2%) に対し、面接形式ごとの受験状況を重ねて尋ねた。WEB 面接の経験者は 9 割を超え (95.4%)、面接の多くがオンラインで行われていることがうかがえる。一方で、対面での面接経験者が前年より大きく増加しているのが目立つ (56.6%→71.0%)。社数についても対面面接は 2.2 社と前年 (1.9 社) を上回る。オンラインを軸としながらも、最終面接など選考が進んだ学生には対面で面接を実施する企業が増えていると見られる。

<形式ごとの面接受験状況>



調査概要

- 調査対象 : 2024 年 3 月に卒業予定の大学 4 年生 (理系は大学院修士課程 2 年生含む)
- 回答者数 : 1,256 人 (文系男子 402 人、文系女子 384 人、理系男子 318 人、理系女子 152 人)
- 調査方法 : インターネット調査法
- 調査期間 : 2023 年 4 月 1 日~5 日
- サンプリング : キャリタス就活 2024 学生モニター